

令和6年3月13日(水)

『人生は川の流れと同じだ。我々は、大河の一滴である』

『人生は川の流れと同じだ。我々は、大河の一滴である』とは、孔子の言葉です。

喜入中学校の皆さんは、人生の意味を考えたことがありますか。もちろん、意味がありますよね。しかし、人生は予期しないことで終了してしまうこともあります。例えば、事故や事件に巻き込まれたり、地震や暴風雨、火山の噴火などの自然災害に遭遇したり、病気になるなど。人生の意味を知ったとと思っていたのに、突然終了してしまう。これもまた人生なのです。

そう考えるととても虚しくなります。人は誰もいつかは死ぬのです。このことは分かっています、虚しく感じます。この人生は、川の流れの様にただ流れて、そして死ぬだけなのではないでしょうか。

ブツダ（お釈迦さま）は『諸行無常』とおっしゃっています。『諸行無常』とは、この世の存在するものは、全て変化するものであり、一瞬たりとも同一性を保持することが出来ないという意味です。私たちは皆、この『諸行無常』の命を生きているのです。

なおかつ、私たちは、『大河の一滴』でもあるのです。私たちは『人間』という大きな大河の、一滴であり、川と同じように流れていることを自覚すべきなのです。

大河の一滴、即ち私たちの命は流れています。そして、それは同じところに保持することはできません。しかし、大河の一滴である自分こそがなし得ることが、あるはずで、自分こそがなし得ることを探すのが、一度きりの人生の意味なのです。自分という大河の一滴が、どれだけの周りの人間という大河そのものに影響を与えられるのでしょうか。そう考えるとワクワクしてきませんか？そして、私たちの一滴の人生を無駄にしてはならないと思いませんか。

人生は川の流れと同じです。我々は、『大河の一滴』であることを自覚しましょう。そして、自分こそがなし得ることを見つけなし遂げましょう。